

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○様々な教育活動を通して、自他を大切にし、互いを認め合い、高め合おうとする心情や態度を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活を送れるようにします。 ・自分の心や体の健康に関心をもち、よりよい生活習慣を心がけ、進んで身体を動かせるようにします。 ・教育活動の充実と、安心・安全な学校生活のため、保護者や地域・中学校ブロック間の連携を強め、信頼される学校づくりを目指します。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組		
豊かな心	「明るく」「いつも」「先に」挨拶をすることで、気持ちを「伝える」ことができるよう、年間を通し工夫して挨拶運動に取り組む。異学年交流を大切にし、協力し合うことの楽しさや大切さを学ぶようにする。保護者や地域の方とふれあい、「まち」のよさや「人」とのつながりに気付くことができるようにする。		
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">担当</td> <td>児童会・ケヤパ活動部会</td> </tr> </table>	担当	児童会・ケヤパ活動部会	
担当	児童会・ケヤパ活動部会		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

素直で明るく、何事にも真面目に一生懸命に取り組もうとする児童が多い。しかし、言葉によるコミュニケーションをとったり、相手の気持ちを考えて行動したりすることがやや苦手である。また、自分で判断し自主的に行動できず受け身になっている面もある。一人ひとりが「安心して」自分を表現し、相手に自分の考えを伝えたり、自主的に行動したりするような活動を大切にしていく。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・年間を通してケヤパ活動（たてわり活動）を位置づけ、異年齢でのつながりやふれあいを大切に、「自分も他人も大切にできる」心を育む。高学年は自分の役割に責任を持ち、リーダーとしての資質が育つよう指導していく。
- ・さまざまな行事や日常の活動の中で、保護者や地域の方々とふれあう機会を設け、まちのよさや「人」とのつながりに気付くことができるようにする。そして、まちや地域の一員として行動できる子の育成を目指す。

【項目 日常の取組】

あいさつ運動の充実

- ・進んであいさつができるように、運営委員会などを中心にあいさつ運動に取り組む。「明るく」「先に」「伝える」あいさつができるようにし、顔が見える関係を大切にする。

職員全体での情報共有

- ・学校全体で一人ひとりの子どもを見守って指導していくという意識をもつ。児童理解での研修を通して全校の児童の実態を把握しておく。